

■建築規制等を踏まえた施設配置例



■建築規制等を踏まえた施設配置のイメージ図



(敷地の南側から北を臨む)

■周辺地図



(c)NTT空間情報株式会社

▽敷地配置の例について

- それぞれの構造、設備、運営管理等の観点から、県民会館と宮城県美術館は階層化せずに、中央に共有部分を設け、両脇にそれぞれの施設を配置すると仮定した。
- 県民会館及び宮城県美術館の現況の施設面積や想定される施設機能等を考慮して概ねの建築面積を設定し、ゾーニングを検討した。なお、みやぎNPOプラザについては、共有部分に設置すると仮定した。
- 県民会館の大ホールは天井高さが必要となるため、日影規制等による高さの制限が比較的緩やかな敷地南側から南東側に配置し、宮城県美術館については、県民会館よりも高さを必要としないことから、敷地の中央から西側に配置すると仮定した。

※「参考資料②」は、集約・複合化を検討するに当たってのイメージを共有するための資料である。今後、施設整備に係る具体的検討や関係機関との協議などの前提となるものではない。